

第19号 西伊敷校区社会福祉協議会だより 【校区社協活動報告】 令和3年3月

本年度は、皆様におかれましても、コロナ禍という現代社会が直面したことのない未知の感染症で、大変な思いの一年となったことと思います。人と人の交流の尊さ、平時での恵まれていた環境を痛感する事となりました。

西伊敷校区社会福祉協議会においても、当初予定の行事等が全て実施出来ず、不本意な1年となりました。このような社会情勢の中でも、感染予防を啓発しつつ、「今」出来る事を社会福祉協議会として実施してきました。

十分な活動はできていないものの、今年度の活動をご報告致します。また今回の社協だよりから、構成を大幅に変更させていただきました。「安心・明るく・楽しく」をテーマに編集して参ります。

西伊敷校区社会福祉協議会、町内会連合会及び民生委員児童委員協議会、関係機関・団体等との連携を図りながら「みんなが安心して暮らせる福祉のまち西伊敷」を目指して引き続き活動していきます。

みんなでつくる絆交流事業



高齢者と児童の異世代交流を、毎年西伊敷小の運動会に演じられるおはら節の披露と一緒に行うことで「絆交流事業」としています。

今年度、運動会当日は入場制限があり、地域住民は入れませんでした。しかし、おはら祭節の事前練習だけは、例年通りおこなうことができ、本当に小さな交流事業でしたが、実施することができました。

赤い羽根共同募金活動

12月13日



本年度も、タイヨー伊敷団地店様のご理解を頂き、赤い羽根共同募金活動を実施し、買い物に訪れた多くの方から募金を頂きました。御支援頂き、わずか2時間で本年度は20,659円が集まりました。

西伊敷校区社会福祉協議会は「赤い羽根共同募金」が財源となり広報紙事業等の多くの活動を支えてもらっております。当日は寒空の下でしたが、鹿児島市社会福祉協議会、西伊敷校区社会福祉協議会委員で活動を行いました。小さなお子様から、幅広い世代の方まで、ご支援を頂き、西伊敷の温かさを感じる機会となりました。

敬老の日 タオル贈呈

9月12-22日

毎年恒例の70歳以上の皆様に敬老をお祝いしてタオルを準備しています。配布については町内会連合会を通じて、各町内会長さんをお願いしております。今回は2700本をタオルを準備しました。

年々タオルの本数が増えており、校区社協の財源にも限りがあることから、いつまで続けられるかお約束はできませんが、楽しみに待たれている方もいると聞いておりますので、引き続き工夫していきます。



市政出前トーク（災害に備えよう）

1月24日



毎年恒例の非常時の炊き出し訓練と研修会には80名ほどの方にご参加いただいておりますが、今年は内容を大幅変更し、「災害に備えよう」というテーマで、福祉委員と福祉館職員のみならず西伊敷福祉館にて開催しました。

鹿児島市役所危機管理課から防災に対する取り組み、避難時に押さえるポイントなどの講話がありました。その後西伊敷における避難所に指定されている「西伊敷小学校」「西伊敷福祉館」がまだ記憶に新しい一昨年の豪雨被害などでどのように運営されたか、市の指定の避難所以外の避難所の可能性についてなどの意見交換もありました。

市が昨年販売した「緊急時に勝手にスイッチが入る」防災ラジオの紹介もあり、一堂感心し、是非ほしいとの声がありました。



西伊敷校区社会福祉協議会とは・・・鹿児島市社会福祉協議会(市社協)・鹿児島市の支援をいただきながら、各小学校区における福祉活動の増進のために活動しています。その西伊敷版です。福祉にかかわる研修会のほか、子育てサロンの開設なども行っています。財源は町内会会費のほか、市社協・鹿児島市からの助成金も充てています。

委員は民生委員・町内会長・まちづくり協議会・福祉有識者の皆様で構成されており、年間を通じて活動しています。 会長 藤崎 剛 090-7929-1634